

(別紙5)

整理番号 2021P-423
補助事業名 2021年度 緊急的な対応を必要とする事業
(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策)補助事業
補助事業者名 社会福祉法人正和会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当法人は兵庫県川西市にて特別養護老人ホームを4施設運営している。当法人の入居者は全て重度の介護を必要とする高齢者であり、コロナ発症、クラスター発生により重症化リスクや命の危険が非常に高いです。

新型コロナウイルス等の感染症に対してはウィルスを「持ち込ませない」対策が重要であり当法人では、公益財団法人JKA様の助成事業を活用しサーモカメラを導入し水際対策を強化します。

(2) 実施内容

新型コロナウイルス等の感染症の水際対策強化のため、サーモカメラ5台を導入しました。ウィズコロナを見据えた老人ホーム運営において入居者と入居者家族の面会にあたり「検温の正確性、効率化」「マスク着用のチェック」「万が一、コロナ発生時の感染経路特定」を強化し、入居者、入居者家族、従業員へ安心安全な体制を強化します。

サーモカメラ

https://plusone-group.co.jp/showakai/company/files/211229_JKA_hojojigyo.pdf



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

今回導入したサーモカメラによりウィズコロナの時代においても法人内での感染症対策の徹底、ウィルスを外部より持ち込ませない体制の強化に繋がります。

当法人の従業員に対しては日頃よりサーモカメラによる体温測定を習慣化することで、今後新たな感染症が発生した際も、「感染症の早期発見」、「感染症を持ち込ませない」、「感染症を広げない」対策をとることができます。

また、外部からの来客、入居者家族等は訪問の都度、サーモカメラによる体温測定を行うことで法人全体としての感染症対策への意識の高さをアピールすることができ、目に見える形で安心安全を提供することができます。

この度、公益財団法人JKA様の支援で導入したサーモカメラは足元の新型コロナウイルスへの対応に留まらず、今後の感染症対策や施設の安心安全の向上に貢献する事業です。

3 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 正和会（シャカイフクシホウジン ショウワカイ）

住所： 〒666-0142

兵庫県川西市清和台東4-5-26

代表者： 理事長 古賀和代（リジチョウ コガカズヨ）

担当部署： 経営計画推進本部（ケイエイケイカクスイシンホンブ）

担当者名： 係長 小田智輝（カカリチョウ オダトモキ）

電話番号： 072-758-1500

F A X： 072-758-0550

E - m a i l： t-oda@plusone-group.co.jp

U R L： <https://www.plusone-group.co.jp/showakai/>